

# bookdown: RMarkdown で本を書く

- 
- Windows の場合、システムの日本語のロケールが CP932 で、UTF-8 になっていないので、やっかい。現状では手を出さない方が良い。
- 

## 始め方

- まず、パッケージ bookdown をインストールしておく

- 1.File > New Project > New Directory
- 2.下の方に、Book project using bookdown がある
- 3.Directory 名とどこに作るかを Browse して > Create Project
- 4.サンプルが作成される（右下の Files 参照）

- 番号のズレに注意
  - ファイル名が、01-intro.Rmd となっているからといって、章番号が自動的に 1 になるわけではない。
  - この数字は、最初に読み込む index.Rmd の次から読み込む順番に過ぎない。
  - 実際、index.Rmd が第一章になり、01-intro は、第二章となっている。

\_bookdown.yml 全体の構成の設定

\_output.yml 出力の仕方の設定

index.Rmd 基本ファイル

- 通常の RMarkdown で書く先頭部分の yaml のヘッダーはこのファイルだけに書く
- このファイルを開いた状態で、メニューの Build から、Build All する
- いったん build した後は、普通の RMarkdown のように Knit でコンパイル

## 執筆作業

.Rproj を開く

- そのうえで、原稿内容の .Rmd を開いて執筆

Build > Build All でコンパイル

- 毎回 PDF まで出力するのは、時間がかかる
- 執筆中は HTML で確認する
- 今書いている章だけを見る方法もある

`preview_chapter()`

## Tips

文字修飾

`- 文字列` でイタリック  
`* 文字列` `*` でイタリック  
`** 文字列` `**` でボルド  
`` 文字列`` でコード

- Pandoc User ' s Guide 日本語版参照
  - <https://pandoc-doc-ja.readthedocs.io/ja/latest/users-guide.html>

## ファイルと章の関係

- 一つのファイルが一つの章
- 一つの章には、第一段階のレベル#は一つだけ。それが章タイトルとなる。
- ##は、章の下の節のレベル

## 相互参照 Cross-references

- ちょっとめんどくさい

## 図や表のキャプション

## 脚注

`^ [注の内容]`

## 参考文献 @key を使う

## References

<https://gedevan-aleksizde.github.io/rmarkdown-cookbook/bookdown.html>

<https://bookdown.org/yihui/bookdown/>

<https://cran.r-project.org/web/packages/bookdown/index.html>